

科目区分：人文・社会科学

授業科目名	法と政治（現代社会と洗脳）				学期	曜日	校時
英語名	Law and Politics (Society and Brainwashing)						
担当 教官名	安部俊二	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	水曜日 2校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>「洗脳」は、オウム真理教事件などで話題になったが、それを「密室的情况を利用しての強制的思考転換」として理解すれば現代社会における多くの政治社会現象は「洗脳」的性格をおびたものとして把握できる。ここでは、ドキュメンタリー映像をテキストに現代社会における「洗脳」の問題を考えたい。</p>							
テキスト、教材等							
浜田寿美男『自白の心理学』（岩波新書） 西日本新聞社社会部「犯罪被害者」取材班『犯罪被害者の人権を考える』（西日本新聞社） 秋田謙三『裁判官はなぜ誤るのか』（岩波新書）小林道雄『（免罪）のつくり方』（講談社文庫）							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	定期試験、課題レポート、出席状況を考慮して行う。						
授業計画							
<p>テーマ：現代社会と洗脳 - 事例研究 -</p> <p>0. 洗脳の基礎理論</p> <p>1. アメリカ海兵隊の新兵教育</p> <p>2. ギリシア憲兵教育</p> <p>3. 旧ソ連特殊精神病院（SPH）</p> <p>4. 中国「労改」</p> <p>5. 北朝鮮「政治犯」収容所</p> <p>6. チリ、ピノチェト軍事政権下の拷問</p> <p>7. 自己改造セミナー</p> <p>8. ヤマギシ会 - カルトの子たち</p> <p>9. 犯罪と人権</p> <p>（1）（少年）犯罪被害</p> <p>（2）冤罪被害 - 「みどり荘」事件（1981年）の場合</p> <p>（3）報道被害</p>							